



国土交通省中国地方整備局
山陰西部国道事務所

令和2年10月22日

お知らせ

資料提供先

山口県政記者クラブ
山口県政記者会
山口県政滝町クラブ

山陰道(木与防災、俵山・豊田道路)起工式を開催

この度、木与防災及び俵山・豊田道路において、初めてとなる工事(橋梁下部工事)に着手します。

今後の工事の順調な進捗と、一日も早い山陰道の開通を祈念して、以下のとおり起工式を開催しますのでお知らせします。

日 時：令和2年11月22日(日) 14:30～

場 所：萩市民館大ホール<山口県萩市大字江向495番地4>

主 催：国土交通省中国地方整備局山陰西部国道事務所・山口県

内 容：来賓祝辞、事業概要説明

※別紙2「起工式 会場位置図」

※別紙3「山陰道の概要・必要性」

※別紙4「山陰道木与防災の概要・必要性」

※別紙5「山陰道俵山・豊田道路の概要・必要性」

【その他】

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、座席の間隔を開ける、マスクの着用、会場入室前の手指消毒等、必要な対策を講じます。
- ・取材を希望される方は、別紙-1取材申し込みFAX表にて、事前にお申し込み下さい。

■問い合わせ先

●国土交通省 中国地方整備局 山陰西部国道事務所

副 所 長

(式典担当)総務課長

(広報担当)工務課長

稲崎 孝始
西本 憲由
前田 邦博

TEL:(0838)21-3910(代表) FAX(0838)21-3921(代表)

☐取材される記者の方へ

当日の報道機関向け入場方法についてのお知らせなどを行いますので、取材を希望される場合は、11月20日(金)12時までに本紙をFAXで送付してください。

国土交通省山陰西部国道事務所総務課

FAX(0838)21-3921

取 材 申 込 F A X 表

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、下記の点についてご注意ください。

1. 人と人との距離の確保(約2m)
2. マスクの着用
3. 会場入室前の手指消毒の実施
4. 発熱等、風邪の症状が見られる場合などは、来場をご遠慮ください
5. 取材及び傍聴の方の身分証明のお願い

■報道機関名

氏名① :

氏名② :

氏名③ :

車両台数: _____ 台 ※なるべく乗り合わせて来場ください。

※1つの報道機関で、複数名取材を申し込まれる方は全ての方のご氏名を記載ください。

■連絡先

電話番号: _____ (当日連絡がつく番号)

FAX番号: _____

E-mail : _____

本書を送付されましたら山陰西部国道事務所総務課まで電話をいただくようお願いします。
TEL(0838)21-3910

< 式典会場 >

令和2年11月22日（日）

【受付時間 14:00 開始 14:30】

萩市民館大ホール

（山口県萩市江向495番地4）

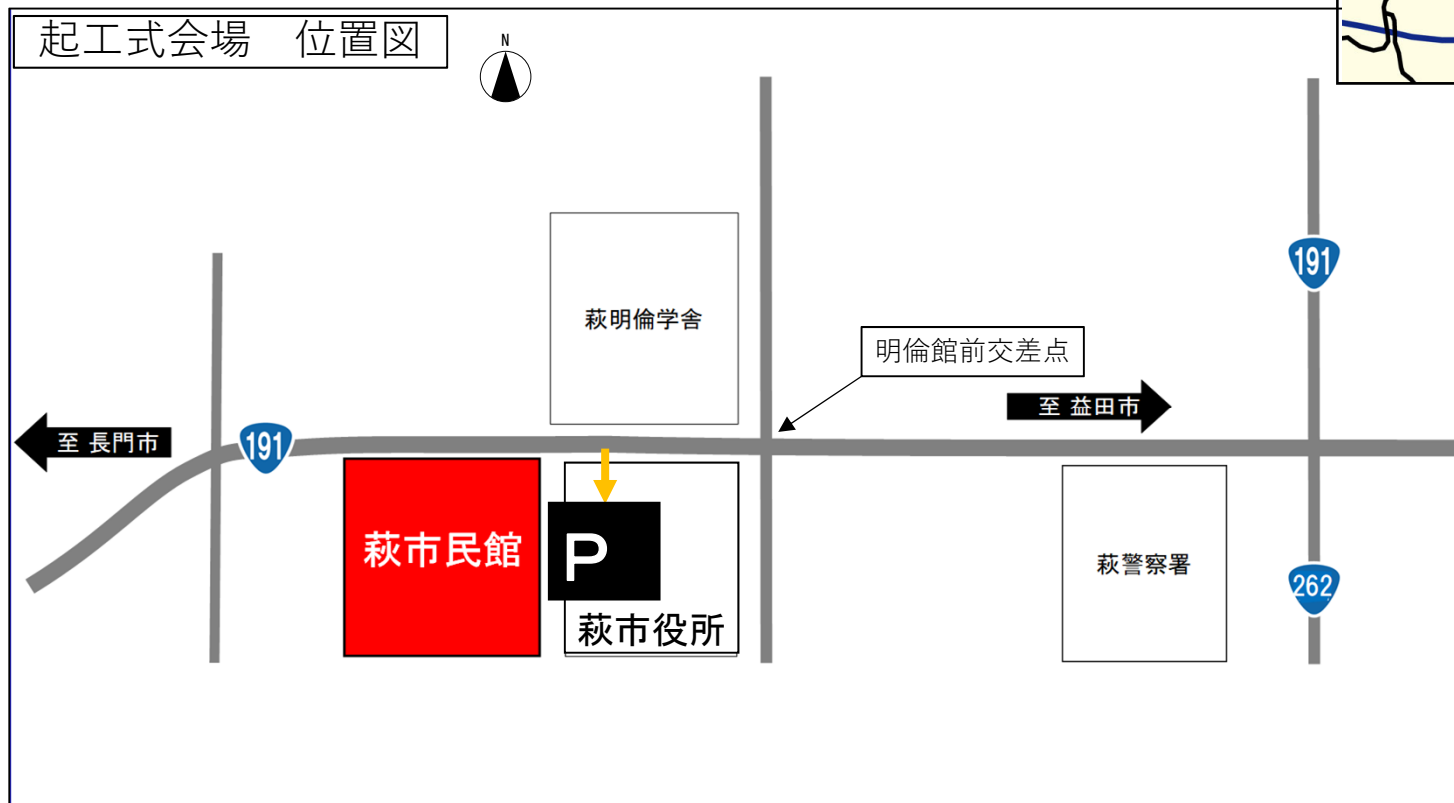
広域図



萩市街図



起工式会場 位置図





- 山陰道の整備により、日本海側の主要都市間の所要時間が短縮し、相互の地域間交流の活発化、人流・物流・産業の活発化等による地域経済の発展が期待されます。
- 平成25年7月に発生した大雨による萩市須佐地区の国道191号の通行止めにより、東西方向の物流が高速道路を利用するルートへの迂回を強いられ輸送コストの上昇が生じました。山陰道の整備により、代替路が確保されます。



●期待される道路の役割(効果):移動時間短縮の予測



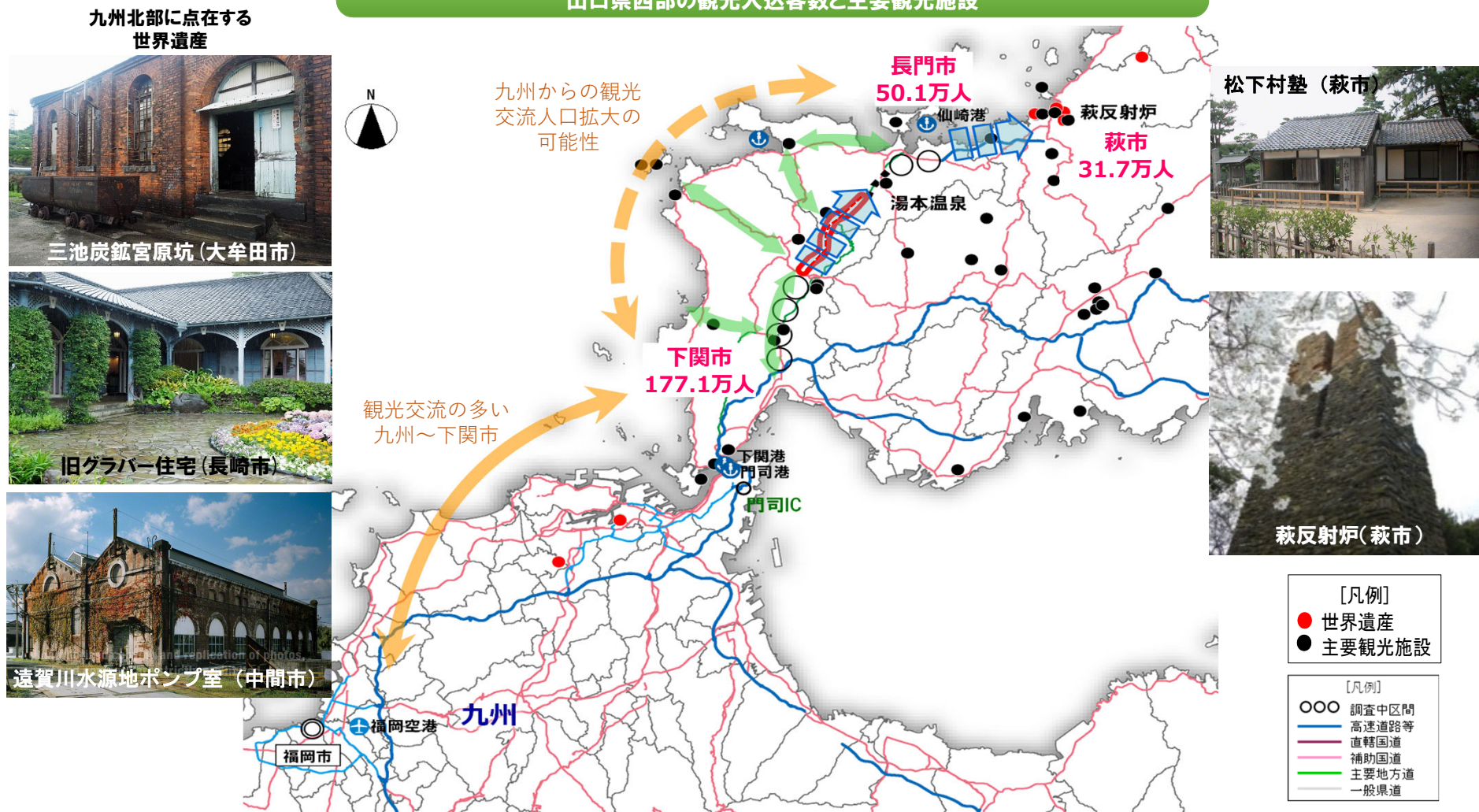
※所要時間は、益田市役所～下関市役所間、及び各市役所間について算出。
 ※現況は、平成27年度全国道路・街路交通情勢調査の混雑時間旅行速度を基に算出し、令和元年9月開通の長門・俵山道路区間は70km/hとして算出。
 ※整備後は、現況をベースに山陰道区間を70km/hとして事業中・調査中区間が全線開通した場合で算出。

【平成25年7月災害の物流活動への影響】



- 山口県においては観光が地域の主要産業となっており、下関市には九州地域から約180万人の観光客が訪れるが、高速道路ネットワークから取り残された結果、県北部まで回遊が少ない状況。
- 山陰道の整備により、移動時間が短縮するため、観光ルート拡大が期待される。

山口県西部の観光入込客数と主要観光施設



山陰道の必要性

別紙- 3

○地域の豊富な農水産物の出荷経路として安全で走行性の高い道路が整備され、安定的な物流を支える道路として機能することが期待される。

益田市～萩市周辺地域の農水産物の出荷の流れ



瀬つきあじ

萩市東部地域および益田市近郊で水揚げされたサザエ・アワビは飯浦に集積され(.....)、主に下関に出荷(→) ※JFLまね益田支所

益田～浜田の水揚げは、一旦浜田へ集積され(.....)、九州方面へは国道191号経由で出荷(→) ※JFLまね益田支所

萩地域にあがった魚は一旦萩市場に集積され(.....) 広島以东、関西方面は小郡萩道路から国道2号経由で出荷(→) ※萩市水産課ヒアリング

萩の農産物は、萩地区内の何箇所かを回り(.....)、主に九州や広島方面へ出荷(→) ※萩地域農林事務所ヒアリング



○木与防災は一般国道191号の阿武郡阿武町内の事前通行規制区間の回避及び災害時の代替路の確保を目的とした延長5.1kmの道路。



注)地図上のルートは概略の位置を示すものであり、今後の現地測量等を実施し、決定していきます。この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を複製したものである。(承認番号 平 29 情報 第 263 号)

事業の概要

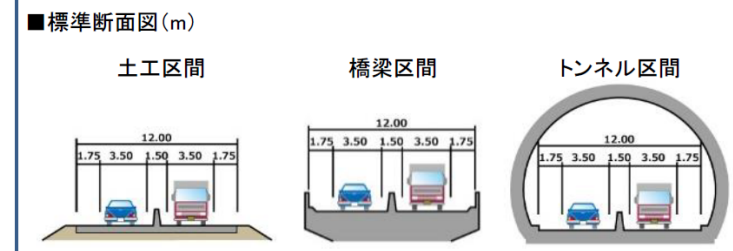
起 終 点	起点：山口県阿武郡阿武町木与 終点：山口県阿武郡阿武町宇田
計画延長	L = 5.1 km (2車線)
道路規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
事業着手	平成29年度

事業の進捗状況

事業全体の進捗状況 (令和2年3月末時点)	
用地	100%
工事	10%
全体	11%

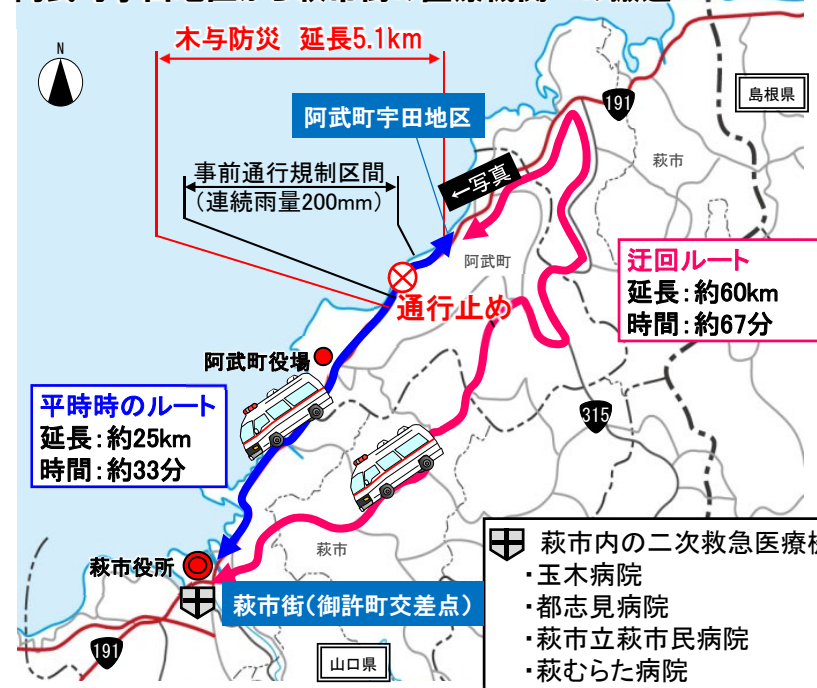
※事業費に対する割合

標準断面図



○木与防災は、一般国道191号の事前通行規制区間を回避し、救急医療機関への速達性、確実性を確保。

阿武町宇田地区から萩市街の医療機関への搬送

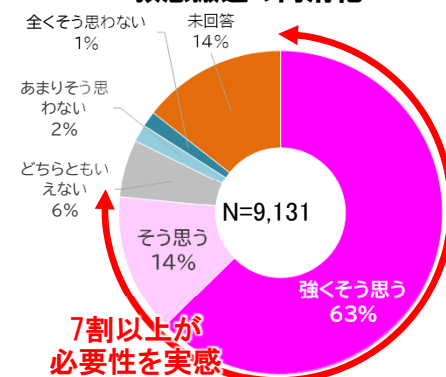


【写真】平成23年通行止めの状況



地域が道路に求める機能・役割

救急搬送の円滑化



(H27年度アンケート調査結果)

阿武町宇田地区から萩市街の医療機関への搬送時間



※現況は、平成27年度全国道路・街路交通情勢調査の昼間12時間旅行速度を基に算出。
※整備後は、現況をベースに山陰道区間を70km/hとして算出。



萩市消防本部
(H27年度ヒアリング調査結果)

- ・木与付近は、崖崩れ、大雨による通行止めなど、現場まで大幅な迂回になり時間がかかります。
- ・山陰道の開通は、現場への選択肢が増え、より早く現場へ到着できる可能性があるかと期待しています。



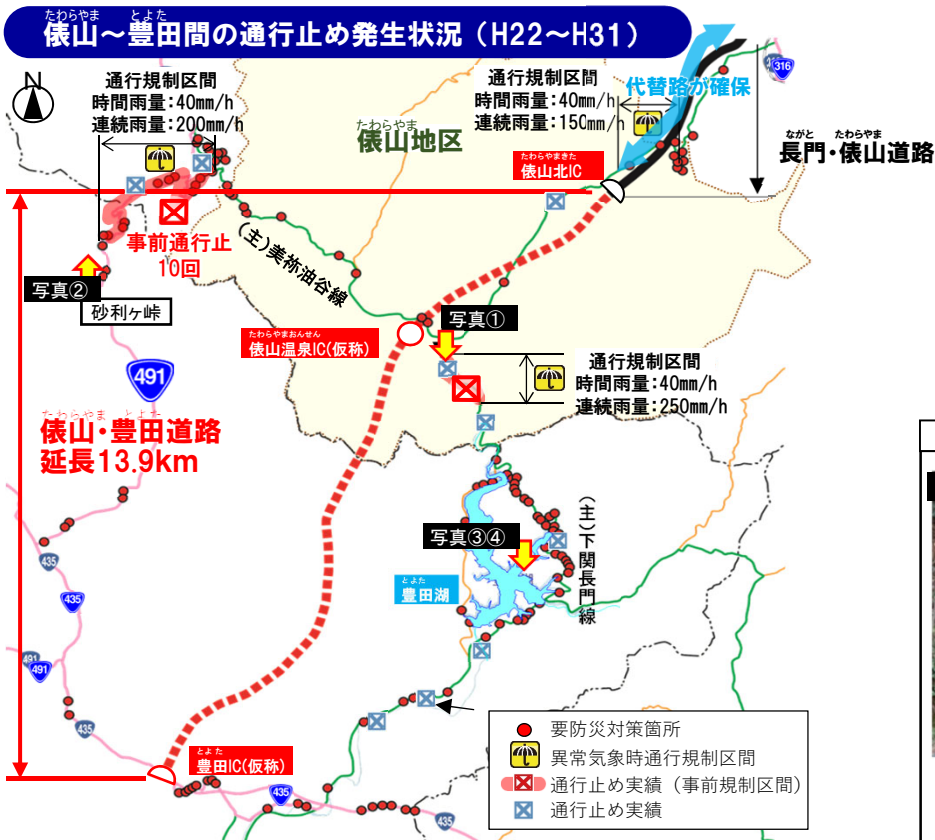
道路利用者
(H27年度アンケート調査結果)

- ・通行止めが多く、救急搬送などを含め早く行ける道路が必要です。[萩市 50代 男性]

山陰道 俵山・豊田道路の必要性（現状の課題）

別紙- 5

- 俵山～豊田の国道491号の砂利ヶ峠周辺で事前通行規制区間があり、幅員が狭く急カーブ、急勾配が連続している。
- (主)下関長門線では豊田湖周辺で事前通行規制区間があり、急カーブが集中している。



俵山～豊田間の災害等による通行止め（H22～H31）

年度	しものせきながと 下関長門線			国道491号		
	発生件数	事前規制	規制時間 (時間:分)	発生件数	事前規制	規制時間 (時間:分)
H22	3	0	132:05	2	2	99:30
H23	1	0	22:15	3	3	50:20
H24	0			0		
H25	1	0	44:20	3	3	90:30
H26	0			0		
H27	1	0	103:30	0		
H28	0			0		
H29	0			2	0	274:40
H30	1	0	172:55	0		
H31	1	1	19:00	2	2	74:30
合計	8	1	494:05 (20日半)	12	10	589:30 (24日半)

下関長門線



◇俵山～豊田間の道路構造の状況

路線名	平面線形不良 (R<150m)	縦断線形不良 (i>5%)
下関長門線	87箇所	1箇所
国道491号	156箇所	4箇所

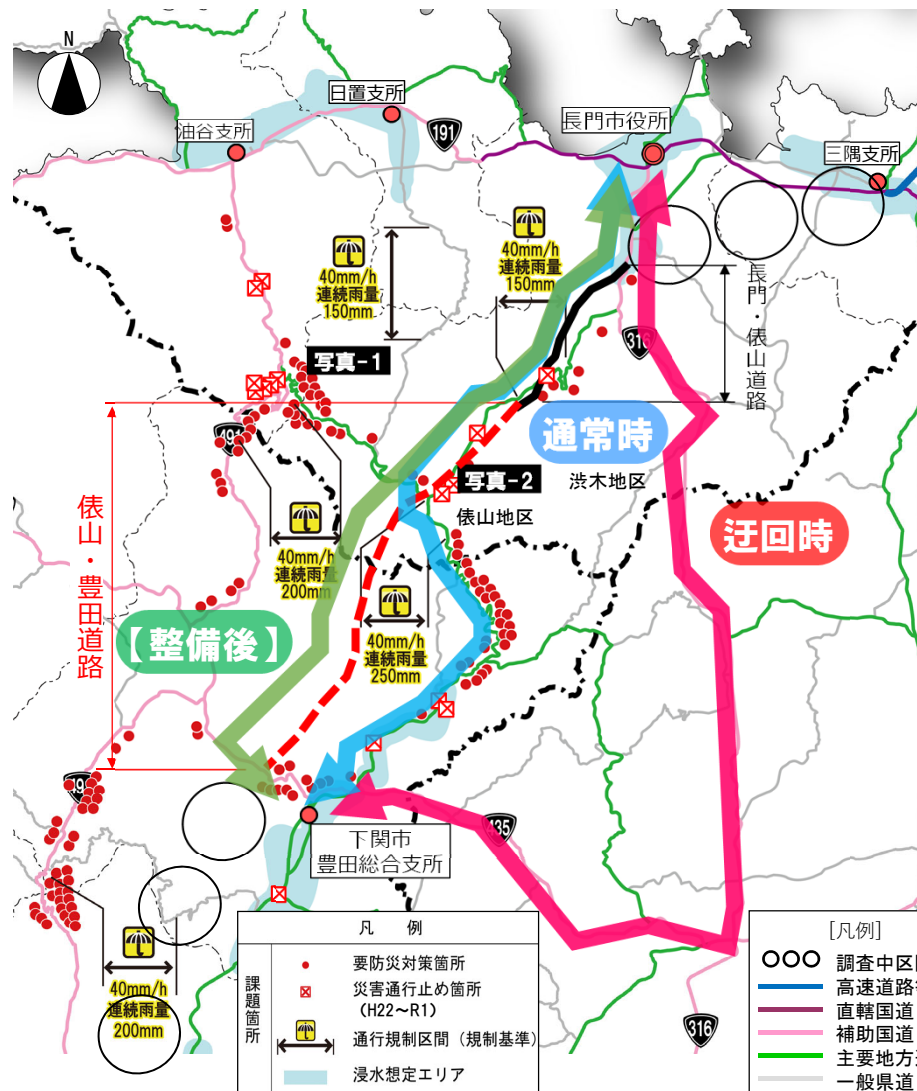
・女性ドライバー(長門市在住)は、R491や下関長門線は線形が悪く、運転がこわいと感じており、316を通して、美祢ICから高速を利用して、下関市へ行っています。(H25年地域住民の意見)

・下関方面への移動は下関長門線利用が最短距離ですが、線形が悪く患者への負担を考えると好ましくありません。時間が大きく変わらないのなら「揺れない」道路を選びます。(H26年消防本部の意見)

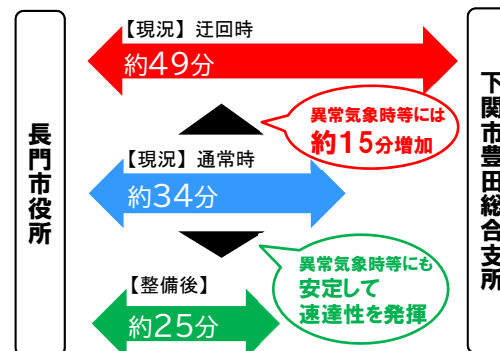


- 下関市～長門市間は、特に長門市～豊田地区までの間に災害等による通行止めが集中。
- 異常気象時の集落孤立や観光客も含めた広域的な迂回を回避できる災害に強いネットワークが期待されている。

異常気象時の孤立・広域迂回の回避



期待される道路の役割（効果）



※現況は、平成27年度全国道路・街路交通情勢調査の混雑時間旅行速度を基に算出し、令和元年9月開通の長門・俵山道路区間は70km/hとして算出。
※開通後は、現況をベースに山陰道区間を70km/hとして算出。

道路利用者の声(H26年度ヒアリング調査)



JA

・平成21年の俵山の通行止め時は、大きな迂回を強いられ通勤などに支障がありました。



警察署

・俵山地区、渋木地区は積雪による孤立化の危険性が高く、代替路線建設が望ましいです。



バス会社

・路線バスの運行ルート上で災害が発生すると、被災箇所までの折り返し運転となるため利用者に不便であり、山陰道は災害時の迂回路として期待しています。

(H26年度ヒアリング調査結果)

災害の発生状況



写真-1 ▲長門市俵山七重【H21.7 被災状況】



写真-2 ▲長門市俵山大羽山【H24.2 被災状況】